

梨園チャレンジ シーズン3

角田市農業振興公社では、令和4年1月から6年12月までの3年間、地域おこし協力隊として活動してまいりました、吉川さんを講師に迎え、道の駅かくだと公社の共催イベント『梨園Challenge』では、梨の生産から収穫までの農作業を体験する機会を提供して、4月から9月の期間に計4回開催されています。今年も、県内外のさまざまな市町村から11名の応募があり、すでに4月と5月に計2回イベントが行われました。

第1回では今までのイベントでは行わなかった「幸水」の摘果（てきらい：咲く前の蕾を間引く）作業を行い、今まで参加したことがある方も初めて行う作業にこの足を踏んでいまして、「ツをつかんでからは、積極的に摘んでいました。」

第2回では摘果（てきか：受粉した実を間引く）作業を行いました。経験のある参加者が多く、迷いのない手つきで傷がある実を切り落としていました。

残りの2回は、8月に幸水の収穫、9月に豊水の収穫を予定しています。角田市農業振興公社では、農家の方々を支援するとともに、就農支援や後継者育成にも尽力して参ります。会員の皆様の温かい応援を引き続きよろしくお願いたします。



梨園 challenge の様

ひやおろし

- ① 冬に仕込んだ新酒を一回のみ火入れする。
- ② 低温貯蔵で夏の間にじっくり熟成させる。
- ③ 秋風が吹くころに出荷される日本酒です。

寝かせることで角が取れ、飲み口が良くまろやかで味わい深いのが特徴です。脂の乗った秋の秋刀魚や冬の鍋物の相性は最高かも♪

※20歳以上の方のみの販売とさせていただきます。
※1セット2本（純米大吟醸、特別純米酒各1.8ℓ）
販売予定価格 8,800円（税込）



特別純米酒

純米大吟醸

冷やおろし 2本セット

訃報
当公社 事務局長の菅原 寛文が令和7年5月5日（月）に逝去いたしました。ここに生前のご厚誼に深く感謝するとともに、謹んでお知らせいたします。

HP X

公社ではホームページに加えXも行っています。是非併せてご覧ください。

※上記の二次元コードからもアクセス可能です。

農業振興公社だより

第30回総会（定時）開催される

角田市農業振興公社の第30回総会（定時）を5月28日（水）午後6時00分から角田市市民センター201会議室で開催し、31名の会員（議決権行使書出席者114人）が出席しました。

開会にあたり、黒須理事長より、農業経営基盤強化促進法の改正により角田市全域で地域計画が策定されたこと、令和7年度産主食用米の作付目安面積等について、今年度実施しているあびくま農学校事業（金津小学校区、北郷地区、西根地区の各地区と東京都目黒区の小学校との間で行われている都市農村交流事業）や公社所属の角田市地域おこし協力隊員が任期を終了し、角田市内に新規就農したことが報告され、今年度も重点目標として新規就農者確保を掲げて市内外で開催される相談会等に参加するとともに就農支援を充実させていく方針を述べました。

当日は、宮城県大河原農業振興部長の長谷部幹様をはじめ、角田市議会議長馬場道晴様、宮城県議会議員八島利美様に出席いただきました。

総会は、藤尾地区の佐藤清彦さんを議長に選出し、「令和6年度事業の報告と正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録の承認について」「公益社団法人角田市農業振興公社社会費規程の一部変更について」「役員選任について」の3件の議案について審議し、いずれの議案も満場一致で承認されました。

- 退任された役員
 監事：高橋正明氏（角田）
 新たに選任された役員
 監事：堀米浩二氏（西根）

- ※役員は、以下の方々です。
 理事：黒須 貴氏、舟山健一氏、遠藤裕一氏、河村 亨氏、面川義明氏、島津健一氏、渡邊俊博氏、小川一昭氏、星 光彦氏、穴戸明美氏、森谷 茂氏、三浦 徹氏、永田真由美氏、小野良憲氏、八巻隆次氏



△総会の様子

黒須理事長、舟山副理事長が再任された理事、監事が出席した理事会が開催され、理事長、副理事長の選定が行われた結果、理事長に黒須貴氏（角田市長）、副理事長に舟山健一氏（JAMみやぎ仙南代表理事組合長）が再任されました。

公益社団法人 角田市農業振興公社
〒981-1505 宮城県角田市角田字大坊41
電話 (02224) 63-23228
FAX (02224) 61-1521
URL http://www.kakunou.or.jp/

特別会員事業

農産物生産者会議開催

今年度も、角田の農産物をサポート会員の皆様にお届けする特別会員事業を行います。昨年度の購入者の皆様から「美味しく家族であったという間にいただきました」、「安心して食べられ、食が進みました」など、また次回も購入したいとの意見を多くいただいています。

今後特別会員事業にご賛同していただいている会員の皆様に、より満足していただけるよう生産者の皆様と一体となって対応して参ります。原材料や米の価格の高騰に伴い価格を見直し、今年度募集を始めますので、よろしくお願いたします。



※写真はセット例です

角田市農業経営者会議 ～農政懇談会～

令和7年1月27日、角田市農業経営者会議（森谷茂会長 会員46名）は、仙南シンケンファクトリーのセミナールームにて、市長との農政懇談会を開催しました。

市長からは、『角田市の現状と今後の農政について』というテーマを中心に話をいただきました。市長は、担い手の育成と確保が全ての分野で重要な問題であると認識しており、持続可能な農業の維持に向けて、効率的な農地の集約を進めるとともに、家族経営や副業的農業への支援にも努めていく考えが示されました。また、県と市が施設更新や機械購入を補助する制度、来客数が増加している道の駅での作物販売などについて、活発な意見交換が行われました。

さらに、財政課より『ふるさと納税について』の説明がありました。角田市への寄付額は増加傾向にあり、梅干しを中心に需要が高まっているので、自作の農作物のPRも兼ねて返礼品への登録を勧められました。

農業経営者会議は、本年度も多くの事業を実施するとともに若手農業者同士の交流機会を設ける予定です。今後、委員の皆様に対し、農業経営に関する新たな知識や情報を発信・共有し、角田市の農業発展に努めてまいります。



市長との農政懇談会の様子

先進地視察



角田市農業経営者会議は、令和7年2月26日から2日間、有志による先進地視察研修会を行いました。研修先は古川農業試験場と舞台ファーム 美里グリーンベースなどを視察しました。

古川農業試験場では乾田直播やイネの新品種についてなど、現在行っている研究について職員からわかりやすく説明いただきました。

舞台ファーム 美里グリーンベースでは、5ヘクタールの広大なハウス管理を効率的に行う技術と設備について見学しました。さらに道の駅3か所を訪れ、地場産品の販売や地域との連携の工夫を学びました。

先進的な取組にふれたこの2日間の学びを、今後の経営のヒントとして、地域の農業をさらに前に進めていきたいと思っております。

令和6年度 あぶくま農学校「土の塾」

あぶくま農学校「土の塾」は、新たに農業を始める方々への支援を行い、実際の農業現場を体験することで角田の風土を直接感じ、角田について理解を深めていただくことを目的として開催しています。

例年は8月に、4日から1週間にわたり、ホームステイや市内の宿に宿泊しながら農作業を体験していただいていたのですが、今回は土曜日と日曜日に通いで参加できる方を募集しました。今回の体験では、

(株) 館島田ファーム Dero 代表取締役 大泉さんのご協力を得て、1月から2月にかけて計4回、ねぎの播種と定植作業を中心に体験しました。今回の農業体験が、参加者の今後の生活に良い影響を与えることを願っています。



土の塾の様子

令和7年あぶくま農学校 土の塾 塾生募集

あぶくま農学校「土の塾」は、角田の農業者から直接、見て、聞いて、触れて、体験する農業塾です。今回は、面川農場(株)の圃場で水稲の栽培から販売までの体験を行います。プロの農業者の生の声を聞き、現場を見て、体験できる絶好のチャンスです。ぜひご応募ください。

- 募集人数：若干名 (18歳以上の方。性別不問)
- 参加要件
 - ・角田市での就農を考えている方
- 日程
 - ・通いで参加が可能な方
 - ・5月より開始、途中参加可能月1〜2回開催予定
- 参加費用：無料
- 講師：面川 大明 氏 (面川農場(株)代表)
- 持参品：健康保険証等、農業体験できる作業着・靴、昼食等

また、詳しい概要と参加申し込みについては、公社HP内、あぶくま農学校「土の塾」の塾生募集ページをご覧ください。



あぶくま農学校農業体験学習「春」各団体で田植え

金津小学校区農業体験交流事業

金津小学校区交流田では、5月10日(土)に下目黒小学校有志37名と金津小学校児童希望者19名による交流事業が行われました。令和5年度に枝野小学校と藤尾小学校が統合され、金津小学校としては3回目の田植え体験となります。

参加した両校の児童は、交流田で行われたあぶくま農学校入校式の後、農業体験実行委員会の指導のもと、つや姫の田植えを行いました。

苗を渡された児童たちは、素足であぜ道を踏みしめながら奥へと進んでいきました。最初は軟らかな田んぼの泥に足を入れることを躊躇う子どもいましたが、慣れてからは競うように植え込み、予定をはるかに超える作業スピードで田植え体験を終えました。



金津小学校区農業体験交流の写真

角田絆交流事業(北郷)

絆交流田では、5月24日(土)に緑ヶ丘小学校区有志41名を迎え、角田絆交流事業の田植え体験が行われ、JA 青年部北郷支部の指導のもと、ひとめぼれの手植えを行いました。

当日は空に雲が広がり、暑さに悩まされることなく作業に適した環境となりました。そのため、児童たちと保護者の方々はスムーズに田植えを終えることができました。

希望した参加者に対しては、JA 青年部北郷支部の方が用意した田植え機乗車体験も行われ、普段乗る機会の少ない田植え機の乗り心地に興奮しながら、児童は楽しそうな表情をしていました。



角田絆交流の写真

北郷小学校体験学習

北郷小学校では、5月21日(水)に5年生20名によるあぶくま農学校の田植え体験学習が行われました。あぶくま農学校入校式は校舎玄関前で行われ、校長先生から激励をいただいた校外の学習田へ移動しました。

学習田では、JA 青年部北郷支部による田植え指導の後、ひとめぼれを手植えしていききました。

児童は田植え(手植え)を経験している子が少なく、ぬかるみに足を取られそうになる場面もありました。しかし、何度か植えているうちに感覚をつかんだ児童たちは、泥に汚れることを気にせず、手際よく苗を植えていきました。

田植えが終わった後も、児童たちは普段できない田んぼでの徒競走を楽しんでいました。



北郷小学校体験学習の写真

西根地区農業体験交流

西根地区田んぼアート横の交流田では、5月31日(土)に月光原小学校区有志35名と北郷小学校児童および幼稚園児10名による西根地区農業体験交流の田植え体験が行われました。

当日はあいにくの雨模様で、時間が経つにつれて雨が強まる見込みだったため、児童たちは顔合わせを短に済ませ、雨具を着用して田植えを行いました。天候には恵まれませんでした。児童たちは肌寒さにも負けず、最後まで田植えをやり遂げました。

作業を終えた児童たちは、西根自治センターで改めて自己紹介を行い、交流を深めました。



西根地区農業体験の写真